

2004 年度 委員会活動成果報告

(2 0 0 5 年 3 月 3 1 日 作 成)

委員会名	ノーマライゼーション環境小委員会	主 査 名 : 八藤後 猛
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名 : 服部岑生
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	近年、少子高齢社会がさらにすすみ、障害者・高齢者等の生活環境への新たな対応が求められている。また、制度面では定着しつつあり、わが国において物的環境整備において、制度面では導入期から充実期に入ったといえよう。こうした背景をもとに、本小委員会は継続的に学術活動、ならびに学会内外への情報の広報、そして公開シンポジウム等を通じて、学習の場を提供してきた。一方、最近社会問題として喫緊の課題となってきた子育て支援、子どもや高齢者等への建築安全計画、広義の住宅確保困難者への対応といった、これまでにない分野についても積極的にテーマとして取り上げる必要性が出てきた。それらを従前の委員会活動で得られた成果を利用、応用し、かつ整合性をはかりながら、総合的、かつ体系的にまとめていく必要があると考える。さらにそこで得られた成果を、今までと同様に報告書、ホームページなどを利用して、広報していく役割を果たしていくことを目的とする。	
委員構成 (委員名 (所属))	八藤後 猛, 佐藤 克志, 菅原 麻衣子, 水村 容子, 足立 啓, 大野 拓也, 川内 美彦, 齋藤 芳徳, 佐伯 博章, 鈴木 義弘, 千里 政文, 寺島 薫, 阪東 美智子, 山脇 博紀	
設置 WG (WG 名 : 目的)	研究事例WG (国内のノーマライゼーション環境事例収集) 海外情報WG (海外との情報交換)	
2004 年度予算	272,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004 年 8 月 15 名, 2005 年 1 月 9 名 2005 年 2 月 6 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 2004 年 8 月 浦河べてるの家における見学会、ならびに研究会 2005 年 1 月 障害をもつ学生等に対する教育支援制度・施設環境に関する研究会 2005 年 2 月 I C F 等の障害指標の建築分野へ適用に関する研究会
	委員会 HP アドレス :
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 障害をもつ人、高齢者、子どもなどの生活の質に関わる国際的な指標では、「障害」については「環境因子」の側面が強調されている。建築計画や研究において、これらを的確に把握するための研究活動を始めた。わが国においてこの指標に詳しい研究者等からその全容と建築学への応用に関する示唆を得た。

その他評価すべき 事項	
----------------	--